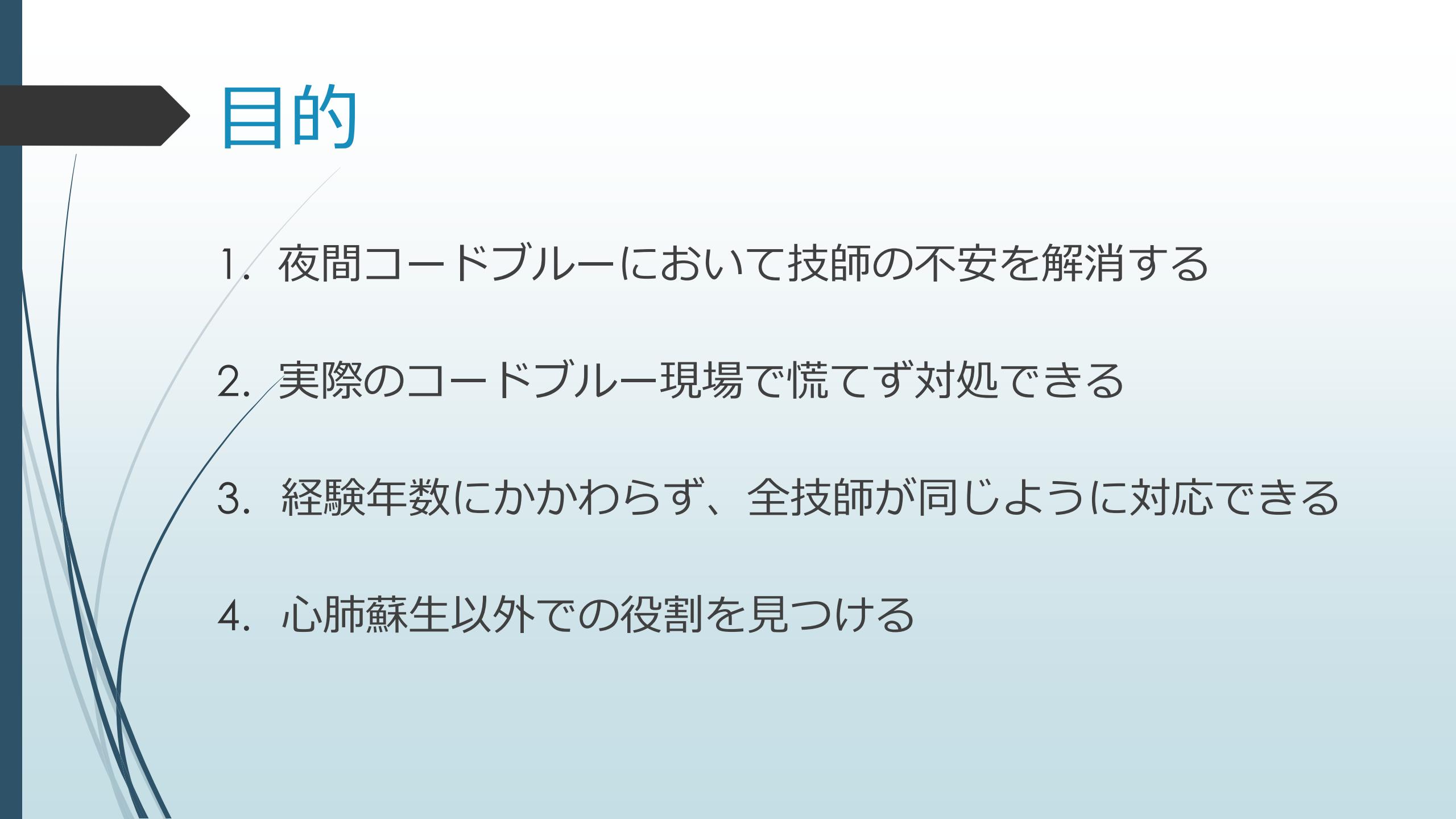


2025年度 業務改善活動

コードブルーにおいて 臨床検査技師として何ができるか

臨床検査技術科 野呂涼音 水野愛友



目的

1. 夜間コードブルーにおいて技師の不安を解消する
2. 実際のコードブルー現場で慌てず対処できる
3. 経験年数にかかわらず、全技師が同じように対応できる
4. 心肺蘇生以外での役割を見つける

アンケートの実施

どんな改善点
がある？

2025 年度業務改善活動 アンケート

タイトル「コードブルーで技師として何ができるか」、内容「夜間コードブルーにおいての技師の不安を解消する」で活動を進めていきます。

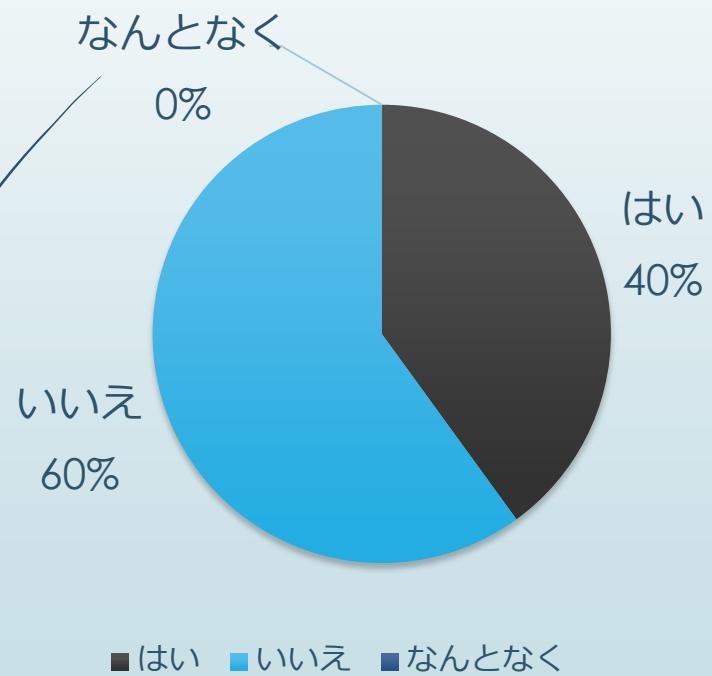
職歴： 年

1. 当てはまるものに○をつけてください。
①BLS での適切な処置方法を理解している。
 はい ・ なんとなく ・ いいえ
②コードブルー発生直後に何を行うか理解している。
 はい ・ なんとなく ・ いいえ
③コードブルー現場で何を行うか理解している。
 はい ・ なんとなく ・ いいえ
④他部署がコードブルー時どう動いているか理解している。
 はい ・ なんとなく ・ いいえ
⑤実際にコードブルーの現場で自分が何を行えばいいか困ったことがある。
 はい ・ いいえ ・ コードブルー現場に遭遇したことがない
2. コードブルーに対しての不安・改善点について教えてください。

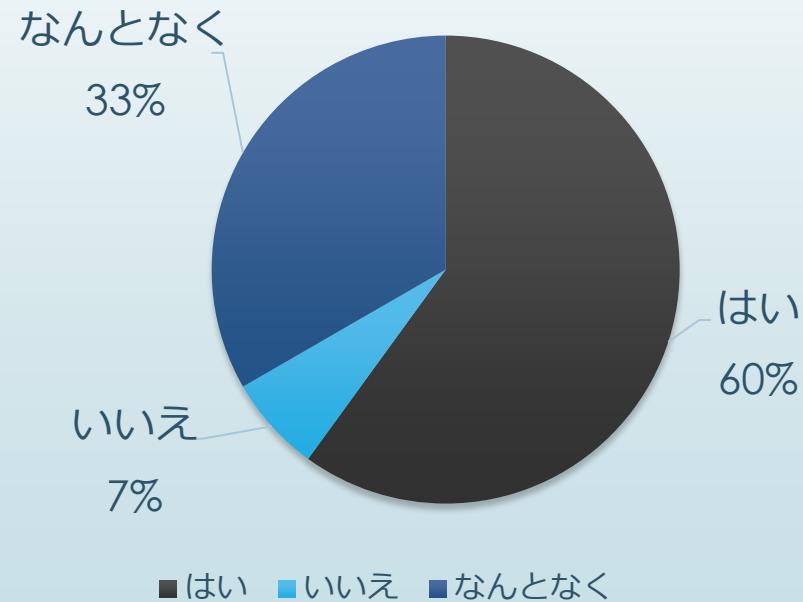
職歴によって不安に
思うことは違う？

アンケート結果

①BLSでの適切な処置方法を理解している

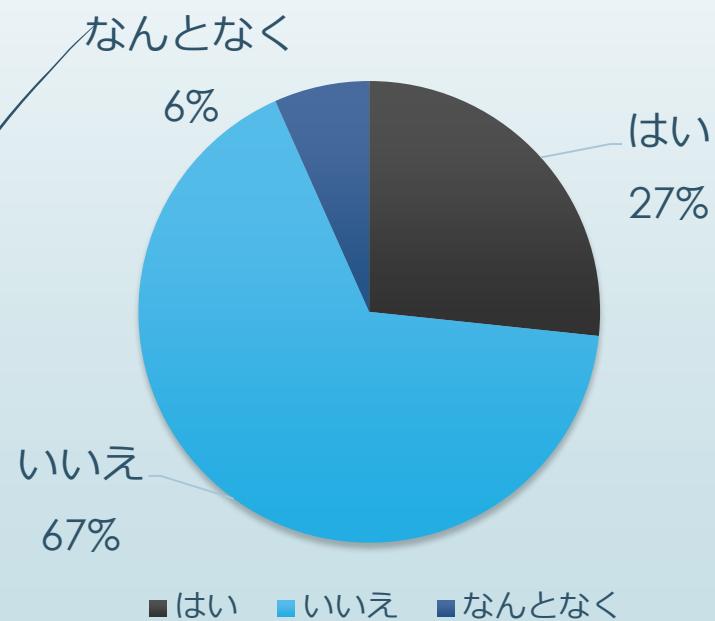


②コードブルー発生直後に何を行うか理解している

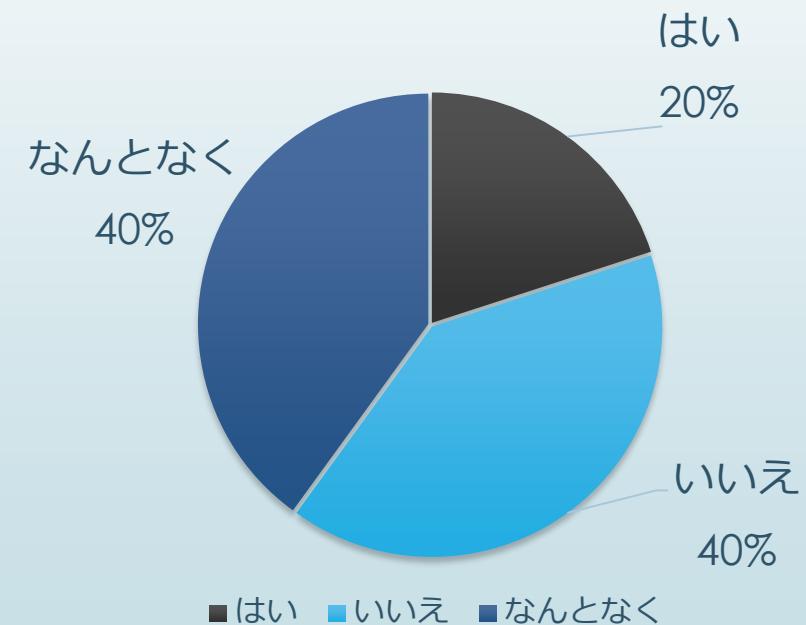


アンケート結果

③コードブルー現場で何を行うか
理解している

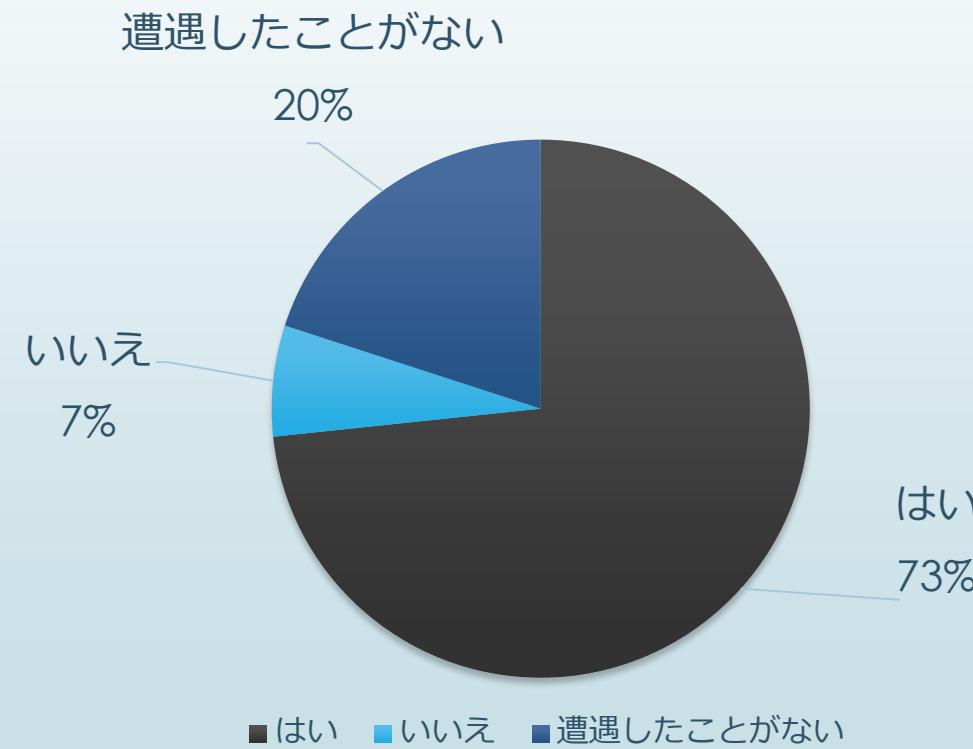


④他部署がコードブルー時どう動いて
いるか理解している



アンケート結果

⑤実際にコードブルー現場で自分が何を行えばいいか困ったことがある



アンケート結果（不安点・改善点）

周りと連携がとれる
か分からぬ

胸骨圧迫以外に何が
できるか分からぬ

経験が浅い場合、
時間内のコードブルー
を見学するべき

コードブルーの
想定訓練を行うべき

指示待ちになってしま
うかもしない

現場に遭遇したこと
がないから実際に動
けるか分からぬ

薬剤箱に何が入って
いるのか知らない



改善点1 (eラーニングの活用)

必須研修 **[BLS]** 医療者のためのBLSアルゴリズム
吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長
三上 剛人 氏 点数: 2/2
26007人が受講済み 受講済

必須研修 **[BLS]** BLSスキルトレーニング
吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長
三上 剛人 氏 点数: 2/2
16756人が受講済み 受講済

必須研修 **[BLS]** BLS実践
吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長
三上 剛人 氏 点数: 2/2
17312人が受講済み 受講済

全技師がS-QUE+で
BLSの動画を受講済み。



部署内の知識の統一化！

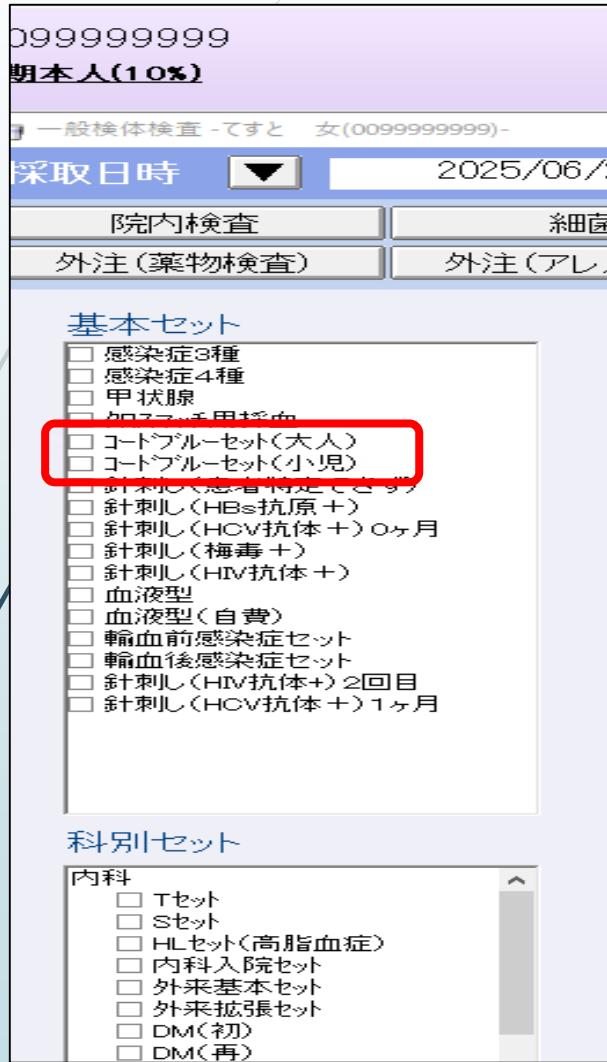
改善点2 (コードブルーBOXの追加)

採血後の分注作業を検査技師が実施できるように、
採血管と分注器が入ったボックスを用意。

他にも…
救急カートの採血管を必要最低限にして
わかりやすくしました！



改善点3 (コードブルーセットの見直し)

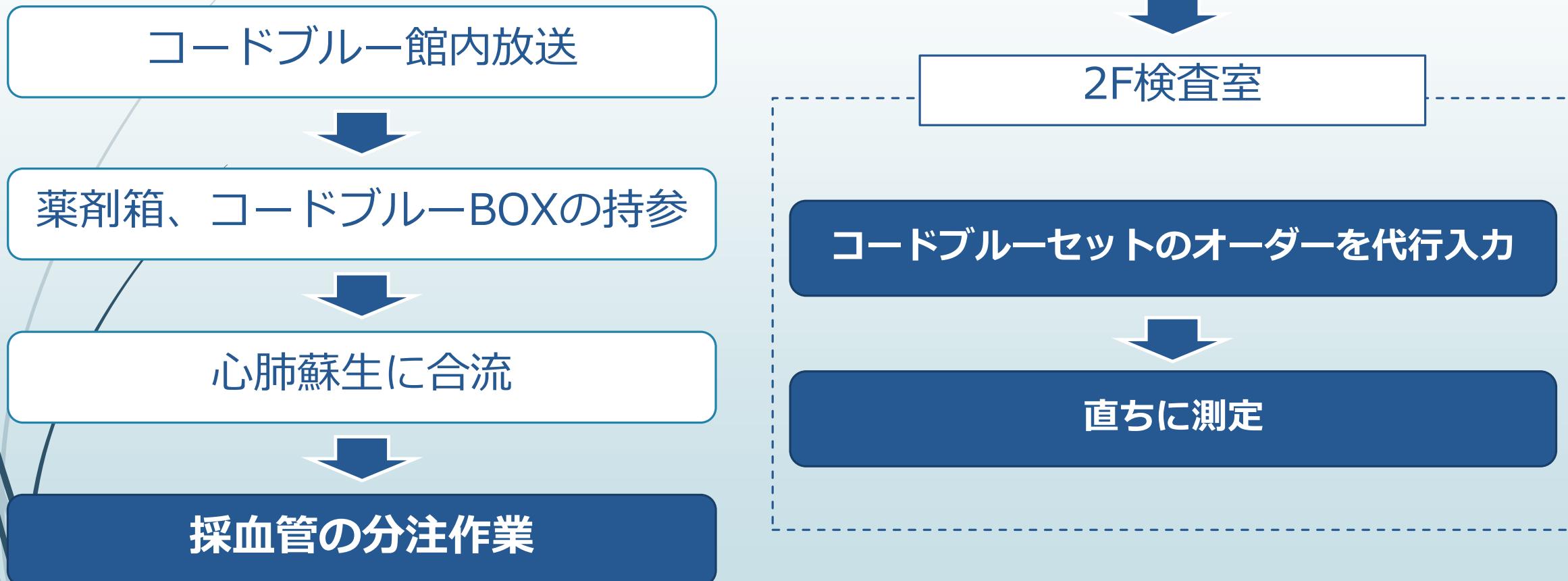


関係各署と相談の上、コードブルーセットに
血ガスやトロポニンIを追加するなど見直しを実
施。

医師の「詳細な」指示なく、**検査技師が代行入力で**
オーダーできるようになりました。

他部署ともスムーズに連携！

改善点4（心肺蘇生以外での役割）



今後について

- 今回の活動で不安が軽減されたか、もう一度同様のアンケートを実施する
- コードブルーを想定した訓練を部署内で行う
- eラーニングで「患者急変予防・対応」の動画も受講していく